

喜多流

広島

HIROSHIMA

蠟燭

ROUSOKU

薪能

TAKIGINOH



能 三輪 粟谷明生

狂言 清水 野村萬齋

能 鉄輪 大村 定

平成29年5月15日(月) 午後5時開場 / 午後5時45分開演

場所 広島護国神社特設能舞台(広島市中区基町21番2号)

※雨天時はJMSアステールプラザ中ホール能舞台(広島市中区加古町4番17号)で行います

主催 広島蠟燭薪能の会 中国新聞社

能のあらすじ 柳瀬 千穂

〔能〕

三輪

みわ

大和の国、三輪山の陰の玄賓僧都(ワキ)の庵に毎日詣でる里女(前シテ)が今日も来て、僧衣が欲しいと言う。玄賓が衣を授け、住まいは何処かと問うと、女は、神詠にある杉の立つ門を目印に訪ねなさいと言ひ残し去る。里人(アイ)に彼の衣が神木に掛かっていると教えられた玄賓が神域を訪れると、女性の姿の三輪明神(後シテ)が現れる。明神は三輪の神と人との結婚について語り、次に天の岩戸前の神楽を再現する。さらに伊勢と三輪の神が一体であると明かし、夜明けと共に消える。

鉄輪

かなわ

〔能〕

男に捨てられ、彼を呪うため貴船明神に丑の刻参りする女(前シテ)に、社人(アイ)は、鬼になるといふあなたの願ひは、衣と顔を赤くして火を灯した鉄輪(五徳)をかぶれば叶う、という神託を受けたと教える。人違いでしょうと否定しながらも、女は早くも鬼に変身しつつ、洛中に帰る。一方男(ワキツレ)は、最近夢見が悪いと陰陽師・安倍晴明(ワキ)に相談する。男が呪われていると見抜いた晴明が祈祷すると、鬼となった女(後シテ)が現れ後妻打ちをし、夫も打とうとするが、晴明の使う三十番神に敵わず、また来ると言い残して消える。



〔狂言〕

清水

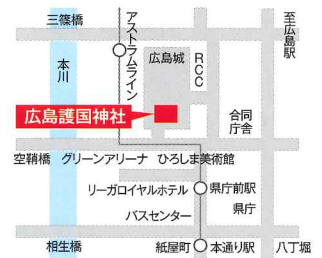
しみず

主人(アド)から茶会に使う水を野中の清水で汲んでくるよう命じられた太郎冠者(シテ)は、気が進まず、鬼に襲われたと嘘をつきすぐに戻ってくる。彼が置き忘れてきた家宝の桶を取りに行くという主人を、太郎は鬼に扮して待ち伏せ…。

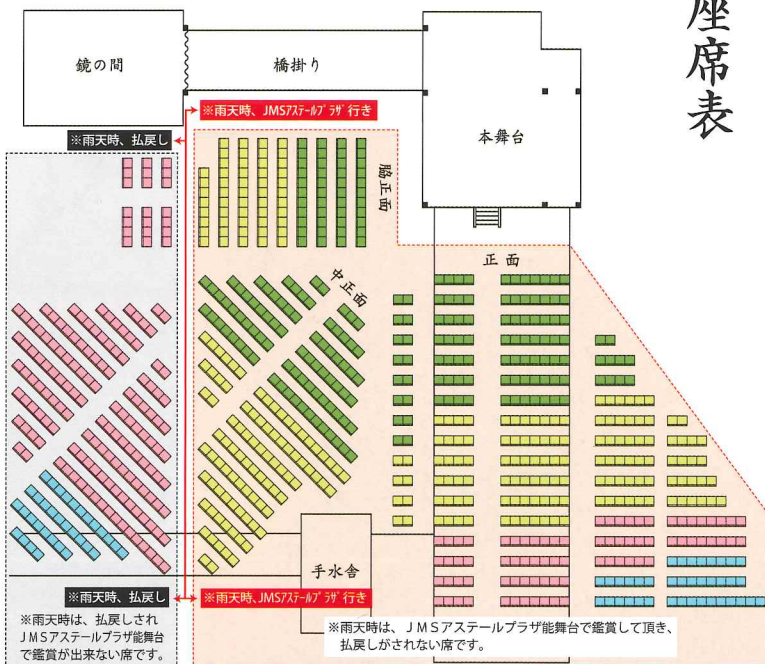
座席表

SS席	13,000円
S席	10,000円
A席	8,000円
B席	5,000円

※場内での撮影、録音は固くお断りいたします。
※場内での時計のアラーム、携帯電話の電源はお切り下さいようお願い致します。
※出演者は、都合により変更させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。



＜アクセス＞
バスセンターより徒歩約8分
アストラムライン県庁前より徒歩約8分
JR広島駅よりタクシーで約10分
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。



雨天時の お問い合わせ先

雨天時の会場変更の通知は、広島護国神社のホームページで行います。また、お問い合わせも神社へお願いします。

URL:<http://www.h-gokoku.or.jp/>
☎082-221-5590

※雨天時の払い戻しチケット(A席、B席の一部)の対応は、神社でのみ行います。

【入場券販売所】

広島護国神社・エディオン広島本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・中国新聞社読者広報部

【問い合わせ先】 広島蠟燭薪能の会

広島市中区基町21-2(広島護国神社内) TEL 082(221)5590(9:00~17:00)

広島蠟燭薪能 栗谷能の会 能楽協会 広島護国神社 検索